

## ネイティブフィグツリーラテックス フィシン

Cat. No. NATE-0255

Lot. No. (See product label)

### はじめに

**説明** フィシンはチオールプロテアーゼに分類されます。活性部位には単一の反活性システインが含まれています。活性部位のアミノ酸ホモロジーはパパインに似ています。フィシンは、Gly、Ser、Thr、Met、Lys、Arg、Tyr、Ala、Asn、Valのカルボキシル側でタンパク質を切断します。報告されたクロモジェニック基質pGlu-Phe-Leu-p-nitroanilideのKmは0.43 mMです。フィシンは、ヨードアセタミド、ヨード酢酸、N-エチルマレイミド、水銀(II)塩化物、DFP (ジイソプロピルフルオロリン酸)、TLCK (Na-p-トシル-リジンクロロメチルケトン)、TPCK (N-トシル-L-フェニルアラニンクロロメチルケトン) によって阻害されます。フィシンは、マウスIgG1から高収率のF(ab')<sub>2</sub>フラグメントを生成するために使用できます。

**別名** フィシン; デブリシン; ヒゲロキシルデラバレ; EC 3.4.22.3; 9001-33-6; フィカイン

### 製品情報

由来	イチジクのラテックス
形態	生理食塩水懸濁液または凍結乾燥粉末
EC番号	EC 3.4.22.3
CAS登録番号	9001-33-6
分子量	23.8 kDa
活性	> 1.0 ユニット/mg タンパク質
特異性	消失係数: E1% = 21.0 (280 nm) pI: 9.0
単位定義	1ユニットは、最終体積10 mL (1 cm光路) でカゼインからのTCA可溶性生成物を測定する際、pH 7.0、37°Cで1分あたりΔA280が1.0を生成します。